

女子中高生夏の学校 2014 ～科学・技術・人との出会い～

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

8月8日、埼玉県比企郡で開催された「女子中高生夏の学校 2014」（以下夏学）にポスターブースを出展しました。

ダイバーシティ委員会が出展をはじめて今年で6年目です。

今年の夏学には全国から科学分野に興味・関心のある女子中高生や保護者・教員の方などが約150名も集まりました。

去年と同様に液状化実験装置とエッキーを用いて、液状化の実験をし、さらに今年はこれに加えて泥団子の展示や解説も加え、これらを通して地盤工学の意義や魅力を伝えるとともにインタビュー形式のPOPを用い、大学の専攻科から研究内容や現在の仕事、職場、など地盤工学に携わる女性たちの紹介などを行いました。

大学でどんな学問を専攻した人が現在どんな仕事をしているのか、地盤工学に携わる先輩方の実例を目の当たりにした女子中高生たちは、「地盤工学という分野っていろいろな学問から成り立っているんだ。」、「女性が活躍できるこんな仕事もあるんだ。」などと新たな発見に驚いている様子でした。

特にピカピカに光る泥団子には、どうして？なぜ？と女子中高生も保護者の方々も目を輝かせ興味津々。人だかりができるほどでした。

ダイバーシティ委員会Y委員作成の情熱がこもった泥団子。地盤工学の分野の一つである土を勉強すると泥団子の楽しみがさらに倍増します。

夏学では皆さんと楽しさを共有できてよかったです。

本活動によって、中高生が“ドボジョ”の道に興味を持ち、進むきっかけとなればと願います。

今年はブースの人気投票は行われませんでした。大好評のうちに幕を閉じました。



光る！どろだんご



展示ブースの様子